

## 地域生活支援拠点等の報告

## 1 各機能の実施状況

- (1) 相談 資料 9-1 (令和 4 年度) 資料 9-2 (令和 5 年 1 月～4 月) を参照  
 (2) 緊急時の受け入れ・対応 (令和 4 年度)

項目	件数	累計	備考
短期入所	0 件	1 件	
短期入所 (措置)	1 件	4 件	

- (3) 体験の機会・場の提供 (令和 4 年度)

項目	件数	累計	備考
G H 体験入居	16 件	43 件	報告期間新規契約者：女性 1 名、男性 1 名。累計契約者：男性 6 名、女性 4 名。
賃貸住宅体験利用	0 件	1 件	

## 2 主な相談内容と今後の課題

## 【土日の相談状況について】

土日の相談件数については大きな変化はありませんが、前回の報告と同様に一般就労している方など土日にしか相談できない方のニーズもあり、来所相談の他に家庭訪問の実施もしています。

## 【グループホーム花桃の体験利用について】

- ・他市町の見学者や、入所者の体験利用がありました。
- ・契約者は定期利用者が多く、月 1 回以上利用される方はうち 4 名います。
- ・契約の当事者、保護者に対し、グループホーム体験の必要性や求めている利用方法・機能についてアンケート調査を行いました。

アンケートの結果より (契約者 10 名、匿名回収)

- ・体験を通して将来のイメージをもつことはできたとの回答が 7 名。どちらともいえないが 3 名。後者は「本人がイメージするのが難しい」との記述あり。
- ・地域サポートセンター (GH 花桃) と支援センターかすがい (コーディネーター) の役割分担や連絡先については半数の方が分かりにくいと回答。
- ・体験時の支援内容や質については 7 名が満足、2 名が支援現場を見ていないためわからない、1 名が「もう少しわかりやすく教えてほしい」といいえと回答。
- ・全員が、今後も GH の体験利用を続けたいとの結果。

## 《今後の課題について》

- ・アンケート結果にもある、支援者側の役割分担が利用者にとって分かりづらくなっていることを検討します。

・利用開始当初は、支援者への試し行動等がみられる利用者がいらっしゃいましたが、数度の利用を経て、支援者側も支援方法を見直すことにより、落ち着いて利用できることが増えています。今後、GH 花桃、かすがい、計画相談員でケース会議を行い、グループホーム入居が適切か評価の場を設けていきます。